

# 岡本 謙一

OKAMOTO, Ken'ichi



教授

所属…環境学部 環境学科  
大学院 環境情報学研究科環境情報学専攻 (社会環境学領域)

URL <http://misc.kankyo-u.ac.jp/~kokamoto/>

Eメール [kokamoto@kankyo-u.ac.jp](mailto:kokamoto@kankyo-u.ac.jp)

Profile

■主な担当科目 物理学概論, 気象学概論, 大気環境論

## 研究者略歴

1968 (昭和43) 年 3月	東京大学教養学部基礎科学科卒業
1973 (昭和48) 年 3月	東京大学大学院理学系研究科相関理化学専攻博士課程卒業
1973 (昭和48) 年 4月	郵政省電波研究所 (昭和63年4月1日より通信総合研究所に名称変更 現、情報通信研究機構) 入所
1993 (平成 5) 年 7月	郵政省通信総合研究所地球環境計測部 部長
1997 (平成 9) 年 7月	郵政省通信総合研究所標準計測部 部長
1999 (平成11) 年12月	郵政省通信総合研究所 総合研究官
2000 (平成12) 年 3月	郵政省通信総合研究所 退官
2000 (平成12) 年 4月	大阪府立大学大学院工学研究科航空宇宙海洋系航空宇宙工学分野 教授
2008 (平成20) 年 4月	鳥取環境大学環境政策学科教授
2008 (平成20) 年10月	鳥取環境大学大学院環境情報学研究科教授
2009 (平成21) 年 4月	鳥取環境大学環境マネジメント学科教授
2012 (平成24) 年 4月	鳥取環境大学環境学部環境学科教授

Research

■取得学位 理学博士 (東京大学)

■専門分野 地球環境科学, 地球環境計測, リモートセンシング, レーダ気象学, 電波工学, 宇宙工学

■現在の研究テーマ

- 次世代の衛星搭載複合型マルチパラメータ降水観測システムに関する研究：  
人工衛星搭載用の降雨レーダとマイクロ波放射計を組み合わせた新しい複合型降雨観測システムのシステム設計を行い、降雨強度の観測精度の向上を目指す。
- 熱帯降雨観測衛星(TRMM)で観測した全世界の降雨のトレンドについての研究：  
地球規模の温暖化が進行する中で、全世界の降雨量の年々変化を、熱帯降雨観測衛星搭載の降雨レーダデータの処理解析を行うことにより調査し、地球温暖化との相関の有無について研究する。また、世界的に降雨災害が増加する中で、強雨の発生頻度について熱帯降雨観測衛星データをを用いて調査する。
- 宇宙から観測した地球環境の変化に関する研究：様々な地球環境問題や自然災害 (降雨災害、地震など) が衛星からの観測によってどの様に捉えられているかについて衛星データを調査して研究する。

■受賞歴

平成2年度 (社) 日本リモートセンシング学会論文賞, 平成5年度 (社) 日本気象学会堀内基金奨励賞, 平成5年郵政大臣表彰, 平成4年度 (社) 日本リモートセンシング学会論文賞, 平成7年郵政大臣表彰, 平成6年度 (社) 日本リモートセンシング学会優秀論文発表賞, 平成9年度前島賞 ((財) 通信協会), 2002年武田賞 ((財) 武田計測先端財団), 平成19年度 (社) 日本リモートセンシング学会功績賞, NASA Group Achievement Award(1998, 2002), 平成24年度 (社) 日本リモートセンシング学会論文賞, 感謝状 (NASDA: 平成10年, 日本リモートセンシング学会:平成20年, NASA/JAXA: 平成24年)

■所属学会 (社) 日本リモートセンシング学会, (社) 電子情報通信学会, IEEE Geoscience and Remote Sensing Society, (社) 日本気象学会

■資格 高等学校教諭一級普通免許理科 (高一普第1373号: 東京都), 第二級陸上特殊無線技士, 電子情報通信学会フェロー

Data

## 研究等活動

- 【著書】
- 基礎からわかるリモートセンシング (分担執筆) 日本リモートセンシング学会編, 2011年6月, 理工図書
  - 宇宙工学シリーズ9「宇宙からのリモートセンシング」(監修), 2009年10月, コロナ社
  - Global Environment Remote Sensing (編著), 2001年3月, Ohmsha, IOS Press
  - ウェブサミット講座「地球環境計測」(編著), 1999年10月, オーム社
  - 人工衛星によるマイクロ波リモートセンシング (共著), 1986年3月, (社) 電子情報通信学会編
- 【研究論文】
- 複数の衛星搭載マイクロ波/赤外放射計の複合による「世界の雨分布速報」システムの構築とその利用 (共著), 2011年9月, 電気学会論文誌 A, vol. 131, No. 9, pp. 729-737.
  - TRMM降雨レーダアルゴリズム改良のための地表面規格化レーダ断面積の解析 PART I: 海上の場合 (共著), 2010年9月, 日本リモートセンシング学会誌 Vol. 30, No. 4, pp.221-233.
  - TRMM降雨レーダアルゴリズム改良のための地表面規格化レーダ断面積の解析 PART II: 陸上の場合(共著), 2010年9月, 日本リモートセンシング学会誌 Vol. 30, No. 4, pp.234-247.
  - Spaceborne radar/microwave radiometer combined rain observation system (共著), 2010年9月, ERAD 2010 - The Sixth European Conference on Radar in Meteorology and Hydrology, Sibiu, Rumania.
  - Recent status of TRMM PR and TRMM PR algorithm(共著), 2010年9月, ERAD 2010 - The Sixth European Conference on Radar in Meteorology and Hydrology, Sibiu, Rumania.
  - Surface reference normalized radar cross section over land for the improvement of the TRMM PR algorithm (共著), 2010年8月, International Symposium on Geoscience and Remote Sensing-IGARSS 2010, Honolulu, USA.
  - TRMM PR Standard Algorithm 2A23 and its Performance on Bright Band Detection (共著), Journal of the Meteorological Society of Japan - Special Issue on Precipitation Measurements from Space - Vol. 87A March 2009, 31-52.
  - TRMM PR algorithms version 6 status and plans for version 7 (共著), SPIE Asia-Pacific Remote of the Atmosphere and clouds II, Procerdings of SPIE Volume 715208-1 - 715208-10, 2008

## 社会貢献活動

(社) 日本リモートセンシング学会評議員, 大阪府立大学客員教授  
過去5年の主な外部活動 (社) 日本リモートセンシング学会会長, IEEE Japan Chapter of the Geoscience and Remote Sensing Society Chairman, 日本学術会議電波科学研究連絡委員会委員(F分科会委員長), (独) 宇宙航空研究開発機構招聘研究員, (独)情報通信研究機構 レーダ狭帯域化技術の研究開発委員会副座長, (財) テレコム先端技術支援センター審査専門部会専門委員, 内閣府情報収集衛星推進委員会専門技術委員会委員, (独)日本学術振興会科学研究費委員会専門委員